

## 令和5年度8月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度8月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和5年8月17日（木） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 笑顔のつどいの打ち合わせ  
第3次古賀市生涯学習基本計画策定
- 【 出席委員 】 井浦議長、村山委員、橋爪委員、砥上委員、丸井委員  
石川委員、山本委員（以上委員7名）
- 【 欠席委員 】 角森副議長、倉掛委員
- 【 事務局 】 生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、田原、
- 【 傍聴者数 】 0名

## 【 配布資料 】

- ・ レジユメ

～笑顔のつどいの打ち合わせ～

- ・ 資料 1 - 1 生涯学習笑顔のつどい 進行
- ・ 資料 1 - 2 会場配置図
- ・ 資料 1 - 3 リスタート つながろう (パンフレット)
- ・ 資料 1 - 4 アンケート

～生涯学習基本計画策定～

- ・ 資料 2 - 1 古賀市が目指す生涯学習
- ・ 資料 2 - 2 3章 (案)

# — 令和5年度8月期古賀市社会教育委員の会議 —

令和5年8月17日（木） 18：30～  
リーパスプラザこが交流館 103会議室

・井浦委員      ・角森委員      ・村山委員      ・丸井委員      ・橋爪委員  
・砥上委員      ・倉掛委員      ・石川委員      ・山本委員

## 1. 開会あいさつ

## 2. 協議事項

### (1) 笑顔のつどいの打ち合わせ

- ・最終調整
- ・当日の役割について
- ・オープニング動画

### (2) 生涯学習基本計画策定

- ・第2章2. 古賀市がめざす生涯学習
- ・第2章3. 生涯学習振興にたいせつな視点

## 3. その他

### (1) 各委員から

### (2) 事務局から

- ・福岡ブロック社会教育委員研修会 令和5年10月13日
- ・九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日
- ・リーパスプラザこがリニューアルに伴うシンポジウム  
令和5年9月24日（日） 13時～15時30分

### (3) 次回開催日程

9月      日（      ） 18：30 ～      会場： \_\_\_\_\_

## 4. おわりの言葉

~~~~~費用弁償支払のご連絡~~~~~

第1四半期の報酬、7月期費用弁償8月9日に支払いました

## (1) 笑顔のつどいの打ち合わせ

◇当日の役割について

(事務局)

笑顔のつどいのセッティングについて説明。(資料1-2)

当日の役割分担については下記のとおり決定。

司会 丸井委員

コーディネーター 橋爪委員

受付・アンケート回収係 石川委員・山本委員

マイクランナー 石川委員・砥上委員

机椅子のセッティング、マイクスタンド片付け・マイク設置

→村山委員・砥上委員・倉掛委員

笑顔のつどい進行表について説明。(資料1-1)

前日準備は9月2日(土)16時から行う。

登壇者との打ち合わせは8月24日18時から旧青少年支援センターで行う。

パンフレット、アンケートについて説明(資料1-3)(資料1-4)

配ってほしい資料や、QRコードを載せてほしいなど希望があれば教えてほしい。

また気づいたことがあれば、事務局までお願いしたい。

## (2) 生涯学習基本計画策定

(事務局)

前回の会議で委員から提案があった4本柱の図のパターンと、事務局提案の自己実現、モチベーションを1本にまとめた3本柱の図のパターンについて説明。(資料2-1)

(井浦委員)

どう表現するのが1番イメージとして、伝わりやすいかというところがポイントである。

自分の考えているイメージと違うか、これの方がわかりやすいのではないかという意見をお願いしたい。

(村山委員)

パターン4は三角形になっている。仕掛ける支援がとても大きいので、安心感がある。

矢印がないので、構造的な感じがする。仕掛ける枠が大きい。

それぞれが、成り立っているような雰囲気があってとてもいいと思った。

パターン2、5は、真ん中が白だからドーナツみたいに見える。  
パターン3、6は茎が細いので、なんとなく頼りない感じがする。この仕掛けで支えられるのかなという印象を受ける。

どう立ち上げていくかが、もう少し変更になったらいいと思った。

(事務局)

事務局の手作りの図なので、茎の部分はまた大きくしたり、もっと土らしくしたり、色々デザインは変更できる。

パターン1は前回の砥上先生が、おっしゃっていただいたところで、「仕掛ける」を取り巻くのではなく、少しずつ引っ掛けていっている。

パターン2は山本委員の「仕掛ける」は取り巻いた方がいいのではないかという、ご意見。もちろん、これから、例えば、もう少し柔らかくとか、色使いをアレンジすることはできる。

(砥上委員)

例えば、パターン1のイメージを、この前も話したと思うが、図とした場合には、パターン4の方が見栄えがいい。

「仕掛け」という言葉が、操作されているような印象を持ってしまうので気になる。

(事務局)

例えば、この「仕掛ける」というのを、「支える」という言葉で、表すというのはいかがだろうか。

(丸井委員)

個人的な趣味だとパターン3のクローバーの支えの軸を真ん中にして、4つの葉を繋いで、葉をハートにする。その横に何個かいろんな芽が出てもいいのではないか。

(山本委員)

ぱっと見た時に自分が好きだったのは、パターン4が分かりやすく、つながっていると感じた。

(橋爪委員)

パターン2と5が仕掛けるが外側にあるのはいいが部屋で区切られている感じがして、関連性が言えないように思える。例えばそれ以外は、つながりがあると視覚的にわかる。

(事務局)

今の印象をお伺いしていると、パターン3、4は、つながりをうまく表現できている。パターン3が、視覚的なイメージでいくと、見やすいという意見だがいかがだろうか。

(井浦委員)

パターン3、6は面白いと思う。

生涯学習の花が開くような、柔らかさを感じられる。パターン1、4は、つながりが見える。

つながりの中でも、パターン4は直線ではあるけど、全部のつながりがしっかりしてきて、それぞれの良さを感じる。前回の第2次計画の表紙を見ていたら、パターン3、6の方が、柔らかい印象がしていい。でも、ページを開いてみると、三角形の図があり、視点として考えた時には、見やすさも必要ではないか。

(事務局)

今、委員の方から、ご指摘いただいたのが、1つは視点としての説明。もう一つは、生涯学習基本計画が持たせたいイメージ。この2つを使い分けるのも手段としてある。具体的には、パターン3、6が生涯学習基本計画のイメージとする。視点を説明するときは、裏面の右上の図。「自発性」、「つながり」、「意欲」、「仕掛け」。「仕掛け」を「支え」や「支援」に置き換えることもできると思う。

事務局としては、施策を売っていくためには、3本柱の方が出しやすい。

自己実現とモチベーションを1本化する。

その意見はどうだろうか。やはり、自己実現とモチベーションを分けたほうがいいか。

(施策について資料2-2の説明。)

議論の中心は、自己実現とモチベーションをどこから線引きをして2つに分けるか。

施策を考えていく中で、非常に難しいところだ。理由は、どちらも個人の内面から出てくる。

そこに対する施策というところていくと、むしろ、1つにまとめた方が、分かりやすく計画をご覧いただけるのではないか。

以上の説明を参考に、3本柱か4本柱のどちらが適切か考える判断材料としていただければと思う。

(砥上委員)

パターン3の資料で見えていくと、おそらく、切り離して説明するのは難しく感じる。

(村山委員)

パターン1、4、6は個の学びを1番上に置いてある。

これはどういう意味か。

(事務局)

あまり大きな理由はない。ただ、これから先、人生100年時代や、マルチステージ型の人生、市民生活が浸透していく上で、まず、出発点となるものがいかに大事かというのを、基本計画としては伝えた方がいいのではないかとこのところから、1番重視したいと思い、個の学びを1番上に持ってきた。

市民アンケートの中でも、生涯学習の必要性は、非常に多くの方が賛同されていた。それをどういう形

で実現したいか。市民アンケートの結果では、いわゆるお1人様の需要が非常に多かった。ただ、それを、自己実現や意欲というところにつけて、例えば、目標の場や、人とつながる、それを発言できる場があった方がいいのではないかとこのところ、「つながる」という言葉が生まれる。それを支えるための機能として、この「仕掛け」、「支援」というのが、生まれてきたというのが、今までの流れ。

(砥上委員)

リーバスカレッジを否定するわけじゃないが、講座よりも自分で目的を持って、何をどう学べば1番簡単に学べるか。

インターネットで学習したら個人の学習が出来上がってしまう。目標も達成できる。

わざわざ公民館に行かなくてもいいという意見もあるのも事実である。

そういう中で、やはりつながりを「仕掛ける」、「支援する」、それが必要だという図ができればいいのではないか。

(井浦委員)

2030年には労働人口の49パーセントがなくなる。AIが代わりになる。AIと違うところは何かといったら、コミュニケーション力や人間性といった学習しかないという調査がある。

ソフト面をどう鍛えていくか。

形としては、事務局が提案していただいた、自己実現のモチベーションを一本化していくような方向でよろしいか。そして、「仕掛ける」という言葉を「支え」、「支援」に置き換える。

こうしなさいと、仕掛けていくのではなく、きちんとサポートするということ。

可能であれば、パターン4と6を、2つ使えたらという方向性。

(事務局)

デザイン的なものを次回、完成度も高くして皆様にお見せできるように作りこんでいく。

(生涯学習基本計画の内容について資料2-2の説明。)

皆さんのイメージの中でこういう施策も考えられるのではないか、

もしくは、こっちの施策にぶら下げてあるけれども、むしろぶら下げるのはこっちであるべきじゃないかという意見を次回の会議でいただけたらと思う。読み込んでいただくようお願いしたい。

(井浦委員)

皆さんまた次回新しい視点でぜひ来ていただけたらと思う。

(事務局)

これは宿題で、ぜひ一読して、次回ご意見をお願いしたい。

### 3. その他

#### (1) 各委員から

(橋爪委員)

来年、スポーツ協会が50周年になる。50周年記念式典が来年10月にある。

午前中は、スポーツの日で、スポーツイベント。午後から記念公演で、秋山幸二さんの記念公演が予定されている。また詳しいことが、決まり次第、お知らせする。

#### (2) 事務局から

- ・福岡ブロック社会教育委員研修会 令和5年10月13日
- ・九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日
- ・リーパスプラザこがリニューアルに伴うシンポジウム  
令和5年9月24日(日) 13時～15時30分

#### (3) 次回開催日程

9月21日(木) 18:30 ～ 会場:103

---